

2022 年度第 8 回 理事会 議事録

一般社団法人 日本損害保険代理業協会

日 時：2023 年 3 月 9 日(木) 13:00 ~ 16:09

場 所：日本代協 会議室 リアル集合開催

出席者：全理事数 18 名、出席理事数 18 名、出席監事数 1 名（津田監事）

会長 小田島 綾子氏は、議長席につき、出席理事数の確認を行い、本理事会は定款第 33 条に基づき、有効に成立した旨を報告して開会を宣し、直ちに議事に入った。

< 会長挨拶（業務報告） >

気候は一気に春に向かっているが、年度末のご多忙の中での理事会出席に感謝申し上げる。明後日は東日本大震災発生から 12 年目となるが、保険事業に携わる我々は、あの日を忘れることなく、地域に根付いて、地震保険の普及や防災・減災の活動を実践していこう。

さて、今は年度の締め括りと次年度の好スタートの準備という多忙な時期であるが、委員会やブロック協議会等の精力的な運営にも感謝申し上げます。諮問事項を含む事業計画の推進において、目標だけでなく取組の意義や目的が浸透して成果に結びついている代協が多く、寄り添って対応されている理事の方々も喜びを実感していることに共感している。

< 業務報告 >

2/15（水）東関東ブロック協議会参加、

2/17（金）南関東ブロック協議会参加、

2/21（火）正副会長 Web 打ち合わせ、

2/22（水）東中国ブロック協議会参加、

3/1（水）2022 年度第 2 回活力研を開催した。前回に続きリアル対面での論議を行った。テーマは「顧客本位の業務運営の原則（以下「原則」）及び「代理店の業務品質管理の高度化」という観点を中心に、あるべき代手ポイント制度について論議した。近日中に議事録を配信するので確認いただきたい。

3/2（木）あいおいニッセイ同和損保_新納社長懇談（於：新潟）

明日の臨時総会、会長懇談会には全国の会長方が揃われる。感染症が落ち着き、リアルに参集でき、事業計画推進等に関する情報交換ができることに改めて有難いことと感じている。この機会を活かし、コミュニケーションを活性化し、さらなる相互理解・思考拡大を図っていこう。

また、金融庁との意見交換会についても、会員のためになる有意義な意見交換となるよう事前準備に多くの時間を割いていただいたことにも感謝する。

保険業界に関するだけでなく、世の中では新しいことが次々の始まっている。代協の中でも、「集い・語り・高め合う」を実践しよう。足踏みではなく、前進していこう。

[審議事項] なし

[報告事項]

1. 各理事からの報告（地域別、委員会別）

(1) 地域担当理事からの報告

- ・担当ブロック内の各代協において、三冠王はじめ各事業計画の完遂に向けた動きが盛んになっている。青森・岩手は確定済でグレードアップに動いており、北海道も現地速報ベースで入賞が確定し、やまがた(あと1店)・福島(あと2店)も詰めに動いている。
- ・損保協会と連携した取り組みである「災害に便乗した悪質な業者対策」の具体策である注意喚起メールの配信やHPへのバナー貼り付けなどを全会員に案内している。
- ・金融庁との意見交換会に臨むにあたり、事前に情報交換したが、各代協ともに「保険会社とのコミュニケーション不足」について言及があった。また、参加には一定の緊張感を持つことは当然であるが、過去から監督官庁であることから萎縮感が見られるところがある。顧客本位の業務運営の実践というベクトルは理解できているが、代協からの情報提供も含め、当局のヒアリング項目等に照らして、どこまで体制整備ができているのかを自己チェックすることで萎縮感が抑制できるのではないかと考えている。有意義な意見交換ができるようコミュニケーションを高めたい。

(代協活動に協力的な方が東海地区から東北地区本部長として異動が決まったので、連携する。)

- ・新潟が三冠王を確定させている。60周年行事で盛り上がり、勢いを保ち、役員動きで小田島会長のお膝元代協として初入賞を決めた。次年度課題は、役員等のマンパワー頼みでない「組織づくり」にある。長野・群馬も地理上、同様の問題を抱えており、一緒に課題解決に取り組み、ブロック目標とした組織率50%達成を目指す。

東関東ブロックはまずは組織率40%達成を目標に取り組んできたが、千葉が達成し、念願の三冠王も確定させた。会長・副会長・組織委員と支部メンバー間の連携が強化され、組織力の向上が図れたことが勝因である。目標に対して意識を共有できる組織づくりが進んだ成果である。栃木・茨城も各保険会社支店長への要請やセミナー開催でラストスパート中である。埼玉は110社の未加入会員あてのDMを契機に人海戦術を展開中である。

南関東ブロックでは、常勝山梨は残り3店の達成で7冠獲得となる。見込み先も共有できており、達成の連絡待ちである。神奈川は取組項目ごとにスケジュールリングして活動してきており、総力で仲間づくり推進に取り組み中(関係強化できた保険会社の支店長から未加入代理店へメール配信していただき、組織委員でフォローアップする)で、昨年に続き、テレマーク姿勢を入れて着地する見込みである。

東京は、確度ある5店の入会見込みを除いて残り10店の入会が必要となるが、総力をあげ取組中で、支部長合宿を通じて、トップダウンでないボトムアップの積み上げができる組織づくりにも着手する。

(SJ社群馬支店長に福岡リーダー職から昇格して着任する。連携が図れる。)

- ・東海ブロックでは、三重が三冠王達成し、グレードアップに取り組んで、ブロックを牽引いただいている。岐阜も着実に詰めている。愛知も会長リードの下、ムードアップが図れており、役員・委員間で目標意識の共有が図れている。静岡では組織委員の諦めない活動が確認できている。北陸ブロックは、福井が早々に7冠を確定させ牽引しているが、石川が続き、富山もラストスパート中である。
- ・近畿ブロックでは、滋賀もまもなく三冠王を確定見込みであり、奈良・京都はグレードアップに取り組んでおり、京都では、ブロック全体の日本代協アカデミーの申込から活用浸透のフォローに注力中である。また顔写真付きゴールドカードの購入申込の同様に、全国トップを目指して、督励中である。「NO.1」という称賛に魅力を感じる気質があり、ブロックの三冠達成において今回は西中国に先を越された形となり、組織率でも香川・徳島と競い合っている状況で今一度、「NO.1を目指す」という御旗を立て直して事業計画の遂行体制を修正していきたい。また、セミナー企画では、日本代協役員や有識者に支援いただき、業界動向だけでなく、人間力を高める内容なども企画し、品質向上・資質向上に取り組む。さらに災害に便乗した悪質な業者対策はじめ、多くの情報が届いているが、役員・委員間で情報を確認し合い、地域での取

り組みの是非、取り組む場合はどう展開すればよいかを検討することを常態化する。

阪神ブロックでは、大阪・和歌山が三冠王を確定させ、グレードアップに取り組み中である。若返った和歌山では、各委員会の横連携を図るためにレクリエーション委員会を組成するなど組織づくりの改革中である。大阪ではポイントとなるセミナーの企画・開催やライブステーション放映（今回は、活力研や政治連盟の活動等）など活性化に注力されている。

また、3/15に開催予定の大阪代協の理事会に近畿財務局の黒田金融監督官が参加し、「保険代理店と地域公共団体の連携」について提案、意見交換を行う予定となっている。京都代協の60周年行事に参加され、代協の取組を再認識され、地域連携について要請が入ったものとする。

- ・両ブロックともに、重点取組事項にかかる取組みが少し弱かったかと反省している。代理店の価値向上のために、仕切り直しを図る。
- ・東中国ブロックでは岡山・鳥取が三冠王獲得まで入会あと1店となっている。2/22にブロック協議会を島根で開催したが小田島会長の来県もあり、店主の奥様方をメインに組成された女性部会も参加した。2世の次世代会と合わせ、活性化を図る。西中国の両県は三冠王のグレードアップに注力している。四国ブロックでは徳島・香川がグレードアップに注力中であるが、愛媛・高知は仲間づくりで苦戦している。
- ・岡山では、非会員である全国的な大手自関連代理店から10名がコンサルティングコースに申込みがあった。
- ・担当ブロック内の8代協のうち、5県が三冠王を確定している。熊本もまもなく獲得できる見込みである。佐賀と連続入賞中であった鹿児島が苦戦している。
- ・PLAN DOシートで情報整理・共有をしているが、佐賀・沖縄の一部の委員会で活用が遅れている。若手の育成はじめ、オリエンテーションの企画・開催が重要と考える。

各代協の事業計画遂行のために、取組みの年間スケジュールを決め、具体的な施策を実施してきたが、福岡ではジギョケイ認定の目標達成へ向け、粕谷アドバイザーによる認定ワークショップ3日連続開催を企画・開催し、未認定であった50会員が参加し、25会員が認定申請した。三冠王のグレードアップも達成できたが、何よりも委員のモチベーション向上や組織の活性化につながった。

次年度に向けても種まきを行っている。自関連代理店にも代理店賠償の必要性を説き、役員・委員だけでなく、事務局女性から、入会見込みのある代理店に入会の電話勧奨を行うなど工夫を続けている。大分では組織委員長が独自チラシを作成して、保険会社からの紹介が増えてきて、成果につながっている。熊本では価値研（代理店価値研究会）を立ち上げて、保険会社担当者と代理店の関係を深める取り組みを進めている。仲間づくり、代理店賠償セミナー、日本代協アカデミー、ぼうさい探検隊などについて保険会社の社員あてに情報提供し、連携強化につなげている。

- ・5/26福岡県代協のセミナーで、金融庁の遠藤俊英元長官を講師にお招きする。

〔地域別委員会別資料〕各ブロック事業計画アクションシート（地域別委員会別資料P.1-28）

(2)企画環境委員会

- ・松本委員長より、以下の報告があり、共有された。

・ジギョケイ推進にかかる重要なお知らせ

制度発足の当初は紙ベースでの申請であったが、今やGビス申請に改定されているが、現在の中企庁の運営実態における申請の流れでは、月末に申請したものが翌月15日前後に公表という期間を要しているため、3月半ばには申請をしなければ年度末までには認定されない可能性がある。早めの申請を促していただきたい。

取り組むことの本来の意義や目的についての浸透は改めて時間をかけて取り組む。

・社労士診断認証制度ホームページの停止

社労士会連合会のホームページ改修が必要となったため、社労士診断認証制度ホームページ

が3/1(火)~3/31(金)の間、ストップする。社労士会連合会と対応策を検討し、以下の対応策を準備できたので、確認いただきたい。

*3/1~3/20の15時までの宣言登録(3/21~3/31の間は登録ができない。)

代協用URLから登録する。資料P.31のQRコードから入り登録する。

<https://test-sr-shindan.xyz/selfcheck/>

*4/1~4/5までの宣言登録

新ホームページから登録する。資料P.31のQRコードから入り登録する。

<https://www.sr-shindan.jp/>

*進捗状況の確認

3/6,13,20に社労士会連合会から認証情報(業種が金融・保険となっているものに限る)

報告をいただき、企画環境委員経由で共有させていただく。4/1以降は、新しいホームペ

ージで進捗確認が可能である。

[地域別委員会別資料]企画環境委員会報告シート(地域別委員会別資料P.29-34)

(3)教育委員会

- ・石川委員長より、日本代協アカデミーの三冠王におけるカウント方法の修正ならびにトータルプランナーに関する諸施策について報告があり、共有された。なお、カウント方法の修正については、不利益変更となることがないため、反対意見はなかった。

・日本代協アカデミーについては、3/1より新システムの申込が開始している。(初日の申込は74会員)日本代協のホームページにあるバナーをクリックするとポータルサイトにつながるので、正会員番号とメールアドレス等を入力してすぐに申込ができる仕組みに改定済である。役員で申込未済の方は、急ぎ申込の完了をお願いする。 <https://nd-academy.net/>
2022年度三冠王のカウント方法について修正したい。今まで「3/31までに入金完了したID数・会員数」をカウントするとして推進してきたが、新システムにおいて「振込期限を申込日の翌月末まで」(3月申込みの場合、振込期限は4月30日)と猶予を持たせた設定が可能となったことから、「3/31までに申込みを行った会員数」をカウントすることとしたい。発足当初より、入金完了までをフォローする形で利用勸奨を行ってきたが、利用代理店数の目標達成を狙う場合のみ、入金ベースではなく、申込ベースでカウントと緩和することとしたい。

旧システムにおける目標達成代協(ID数:岩手・大阪・福岡、会員数:愛知・広島)は1冠獲得する。

旧システムにおける利用者ID数の追加については、対象となる既利用会員がごく少数のため、教育委員ルートで個別フォローする。協力要請があった場合、ご支援をお願いする。対象会員は全国で90店ほどである。

新システムは3/1から申込みを開始している。日本代協ホームページのトップ画面にある上記バナーをクリックし、申込画面から正会員番号等を入力し、申込ができる。

新システムにおける利用会員数のカウントについては、

「3/31(金)までに申込みを行った会員数」を4/6(木)に集計し、カウントする。

新システムにおける利用者ID数のカウントについても、4/6(木)に集計し、カウントする。

但し、利用者IDのカウントに関しては、管理者IDが入金完了の会員に送信される仕組みであるため、**申込みだけでなく、入金完了の督促を行う必要がある。**早めに入金をしていただき、現時点での新システムのリリース日である4/1(土)~4/5(水)の間に、各会員の管理者が利用者ID登録を完了させる必要がある。

既利用者の留意事項：旧システムの「学習履歴」については、新システムへの学習履歴のデータ引継ぎができないため、2023年4月中に必ずダウンロードして、手元に保管いただきたい。2023年5月1日以降は旧システムが使用できなくなるので要注意である。

学習履歴の保存方法（現行システム）<https://nd-academy.net/elearn/#seisekidl>

.2022年度のコンサルティングコース受講者募集については、全16ブロック、全47代協が目標を達成し、合計で1,407名となった。強力な取組に感謝申し上げる。（その後、転勤や退職等の要因でキャンセルが6名出ており、3/10時点での受講者は1,400名である。）

2/1から顔写真付き認定証（カード型）の購入申請が可能となった。損保トータルプランナー専用ページから申込・購入いただき、お客さまとの対面時等の着用の励行をお願いする。

2/17に合同運営会議に臨んだ。コンサルWebセミナーのアンケート結果などの報告を行い、共有した。「大いに役立った」、「役だった」の評価合計が95%を超えており、一定の評価を集めることができている。一方でWebセミナー運営に関する負荷の問題解決が進められておらず、次々年度のセミナー構成の改定を検討していく。レクチャー部分は講義動画を視聴し、討議部分のみをWeb会議で実施するなどの構成改定の検討に入る。

なお、2023年はリアル開催を併用せず、Webセミナーの形式にて運営することが決まっている。7月から開始するセミナーのアテンドは地区別担当ではなく、標準化する。

〔地域別委員会別資料〕教育委員会報告シート（地域別委員会別資料P.35）

2. 前回理事会（2023.2.10開催）以降の主な業務報告

(1) 仲間づくり推進2月末状況、「目指せ、三冠王」の取組状況

・事務局より、資料に基づき、「仲間づくり推進2月末状況」について報告があり、確認、共有された。

【主な内容】

- ・「会員±0以上_増強キャンペーン」では22代協が増強部門入賞となっている。
- ・2月末の代協正会員数は、11,048店(入会累計287店[前年275店]、退会累計333店[前年433店])。1月に続き、2月単月でも19店の増店となった。
- ・代申社ごとの増減は、MS 22店、S J 17店、TN 16店、日新 5店、楽天 3店と減少、一方で共栄+5店、AD・AIG+4店、chubb・セコム+2店と増加している。
- ・年間目標達成代協は、「目指せ、三冠王!」、代協別実績資料のとおり、19代協となっている。
- ・三冠王も、3月10日時点で仲間づくり推進の目標を達成した19代協が当確となっている。また、3月10日現在、7冠の福井、6冠の徳島と過去該当がなかったダイヤモンド三冠が誕生している。各代協で入賞やグレードアップを目指した取り組みが盛り上がっている。

〔資料 報1.〕「仲間づくり推進2月末状況」(P.1-2)

〔資料 報2.〕2022年度「目指せ、三冠王!」臨時号0309(席上配付)

(2) 損害保険大学課程

・事務局より、資料に基づき、コンサルティングコース受講申込結果、損害保険トータルプランナーの認定状況等について報告があり、確認、共有された。

【主な内容】

コンサルティングコース受講申込結果

- ・石川教育委員長コメントのとおり。

損害保険トータルプランナーの認定状況等

- ・1月末時点
損害保険トータルプランナー 19,558名(+82名)
認定有効者数 16,186名(+4名)
代理店検索機能登録 4,549店(+23店)

損害保険プランナー	73,715名(+100名)
有効認定者数	32,716名(33名)
ゴールドカード保有者	8,201名(+62名)

・認定バッジの申込は、各代協からの団体購入申込も続き、総計で1,701人となった。

〔資料 報3.〕1.コンサルティングコース受講申込最終速報(P.4-5)
2.損保トータルプランナー認定状況等(P.6-10)

(3)日本代協アカデミーの展開

・石川委員長の報告のとおり。

【主な内容】

・新システムの利用勧奨については、石川教育委員長コメントのとおり。

〔資料 報4.〕日本代協アカデミー_ポータルサイト <https://nd-academy.net/>
利用者向け2/20メール・3/1メール配信文面(P.11-14)

(4)「活力研」実施報告

・事務局より、資料に基づき、「活力研」の実施報告があり、共有された。

【主な内容】

- ・3/1(水)15時~18時 活力研を実施、その後、懇親会を実施した。
 - ・テーマ設定などの事前準備は、栗山ADVに相談し、素案を策定。全理事、参加予定の保険会社に配信して調整し、原案とした。各保険会社とは事前に1時間強の打ち合わせを実施し、本番の論議に備えた。
 - ・「顧客本位の業務運営の原則(以下「原則」)及び「代理店の業務品質管理の高度化」という観点を中心に、あるべき代手ポイント制度について、ならびに各保険会社が専業代理店に期待することについて論議した。
- 顧客本位の業務運営をさらに進展させるために、インセンティブとなるような評価項目にはどのような項目がよいのかを一緒に考えていくことが重要であると考え、以下の論点に沿って議論を進めた。

- 1.「重要な情報のわかりやすい提供(原則5)」
 - (1)高度の専門性、(2)デジタルを使った情報提供
- 2.「顧客にふさわしいサービスの提供(原則6)」
 - (1)リスクマネジメントの観点、(2)専属と乗合とのポイント差をどう考えるか
- 3.業務品質の高度化

- ・出席者：あいおいニッセイ同和、損保ジャパン、東京海上日動、三井住友海上のリテール営業推進担当部長及び栗山ADV、日本代協正副会長、企画環境委員長、事務局。
- ・論議の内容については、追って配信する議事録や今回も、要点解説動画を作成するので、是非参照いただきたい。

<意見>

- ・冷静で心ある対話の場である「活力研」の内容について、会員はもちろん、保険会社の営業現場の担当者が理解を深められる取組みを展開する必要がある。
- 論議テーマ募集をアンケートで行うというよりも、まずは活力研の報告会や活力研セミナーのリニューアル開催、そして保険会社社員向けの勉強会(モニタリングレポート等の)など「活力研」の取組の周知や浸透策について検討するのが重要ではないか。
- 「活力研」セミナーのリニューアルも検討してみてはどうか。

〔資料 報5.〕1.活力研事前準備案内(P.15-16)
2.活力研資料_あるべきポイント制度(P.17-18)
3.inswatch145「マーケットデザインの問題」(P.19-22)

(5)代理店経営サポートデスク相談対応状況

- ・事務局より、資料に基づき、代理店経営サポートデスクの相談対応について報告があり、確認、共有された。

【主な内容】

- ・電話相談の件数は減っている。第4Qは、ジギョケイ認定取得研修やSDGsの取り組みを含む地域の未来と代理店のミライに関するワークショップやセミナーの依頼が多く、サポートデスクの役割も少し変わってきていると感じている。
- ・代理店経営未来塾も第2期を開催中である。現在15名が受講中で、保険や保険募集に関する勉強とは異なる代理店経営のセオリーを学んでもらっている。参加者との交流がとても有意義であるとの感想が多く上がっている。第3期も継続設営の予定である。経営を学びたい方宛てに広く案内する。

〔資料 報6.〕「代理店経営サポートデスク」経営相談事案分類整理・相談明細（P.23-24）
代理店経営未来塾_第2期中間報告（P.25）

3. その他

(1)業界動向最新情報

- ・事務局より、業界動向の最新情報について報告があり、共有された。

【主な内容】

- ・募集コンプライアンスガイド（2023年2月版[第15版]）
https://www.sonpo.or.jp/news/notice/2022/pdf/boshuguide_202302.pdf
- ・生保協会が行う代理店業務品質評価について、2/24に認証取得の公表が行われた。54社参加のうち42社（46代理店）が認証を取得した。システム回りの体制整備の重たさが確認できる。（参考）制度概要 <https://www.seiho.or.jp/quality/>
- ・人事異動等の情報
4月1日付、主に教育・組織を担当する出口 雄一 業務推進部長（前職は損保ジャパン浜松支店の代理店業務部長）が着任する。着任事前の3月10日の会長懇談会に駆け付けるので、ご挨拶させていただく。
また、活力研メンバーではTN社の中挾部長がTNPのマネジメント会社であるTPM（東京海上日動パートナーズマネジメント）、MS社の渡辺部長が長崎支店長、SJ社の宮井部長が山陰支店長に異動となった。

[監事講評]

- ・津田監事より、以下の通り、監事講評があった。
- ・本日の理事会では審議事項はなく、報告事項のみであったが、適正に運営されたと判断する。コロナの3年間のトンネルを抜けた時であり、久しぶりのオブザーバー同席の開催であったので、進行役の差配でオブザーバーから現場の声を確認することも今後、検討いただきたい。さて、本日は、地域担当理事の方々の発表で全国の活動状況が見え、共有できたと感じた。気になった点は、次の通りである。
三冠王の取組発表はあったが、地域担当理事としての課題は何で達成状況はどうだったのか、各地のブロック長との関係はどういう状況であるのかなどについても発表いただきたい。
また、相談役からも過去に実施していた「活力研セミナー」に関する情報提供もあり、現在ではWebも活用した展開も可能と考えるので、冷静で心ある対話の場である「活力研」の取組の周知策について検討を進めていただきたい。本日は有意義な理事会であったと判断する。
- ・今は、損保協会や金融庁・財務局との連携を強化し、さらに存在感を広げられる時期にいると考えられるので、今、一致団結し、スクラムを組んで計画を遂行してほしい。

以上

<今後のスケジュール>

2023年3月のスケジュール (案)

損保会館の予約状況ならびに会議体のあり方の改定状況によっては、日程の変更がありますので、予めご了承ください。

2022年度	3月1日(水)	15:00~18:00	2022年度第2回「活力研」	日本代協 会議室
	3月9日(木)	10:30~12:00	正副会長打合せ	日本代協 会議室
		13:00~16:30	第8回理事会	
	3月10日(金)	10:00~12:00	臨時総会	損保会館 2F(大会議室)
		13:00~14:00	政連通常代議員会	〃
		14:00~18:00	会長懇談会,16時~金融庁保険課長との意見交換会	
		18:10~19:30	同上懇談会	損保会館2F予定

2023年度日本代協 主要イベント 年間スケジュール(案)

※会議の追加もしくは下記の日程及び時間は変更することもあり得ます。2024年3月の総会では会場手配がこれからになります。 *修正(赤字)						
※理事会開催日の午前中(原則10:30-12:00)は正副会長は直前の打ち合わせを行います。						
総会・および会議名	2023年4月	2023年5月	2023年6月	2023年7月	2023年8月	2023年9月
総会			6/16(金) 10:00-11:00			
会長懇談会			6/16(金) 13:00-18:00			9/15(金) 13:00-18:00
理事会 (正副は当日AM 打合せあり)		5/12(金) 13:00-17:00		7/14(金) 13:00-17:00		9/14(木) 13:00-17:00
正副会長会議	4/25(火) 9:00-11:00 Zoom		①6/15(木) 13:00-17:00リアル ②6/27(火) 9:00-11:00 zoom		8/29(火) 9:00-11:00 Zoom	9/26(火) 9:00-11:00 Zoom
事業計画 諮問事項打ち合わせ						
企画環境委員会	4/11(火) 13:30-17:00		6/26(月) 13:30-17:00			9/11(月) 13:30-17:00
教育委員会	4/28(金) 10-18:00		6/30(金) 10-18:00			9/1(金) 10-18:00
組織委員会	全国一斉 4/21(金) 13-17:00			7/7(金) 13-17:00		9/8(金) 13-17:00
CSR委員会	4/20(木) 13:30-17:00		6/23(金) 13:30-17:00			* 9/19(火) 13:30-17:00
広報委員会	4/6(木) 13:30-17:00		6/20(火) 13:30-17:00			9/13(水) 13:30-17:00
活力研						
7社懇						
業界紙との意見交換 会						
コンベンション						
代理店経営未来塾	4/10(月) 15:00-17:30					

総会・および会議名	2023年10月	2023年11月	2023年12月	2024年1月	2024年2月	2024年3月
総会						3/8 or 15(金) 10:00-12:00
会長懇談会			12/8(金) 13:00-18:00			3/8 or 15(金) 13:00-18:00
理事会 (正副は当日AM 打合せあり)	10/13(金) 13:00-17:00		12/7(木) 13:00-17:00		2/9(金) 13:00-17:00	3/7 or 14(木) 13:00-17:00
正副会長会議		11/21(火) 9:00-11:00 Zoom		1/23(火) 9:00-11:00 Zoom		
事業計画 諮問事項打ち合わせ			12/6(水) 15:30-18:00			
企画環境委員会				1/16(火) 13:30-17:00		
教育委員会				1/26(金) 10-18:00		
組織委員会		11/8(水) 13-17:00		1/24(水) 13-17:00		
CSR委員会				1/19(金) 13:30-17:00		
広報委員会				1/23(火) 13:30-17:00		
活力研						
7社懇						
業界紙との意見交換 会						
コンベンション		11/17(金)18(土)				
代理店経営未来塾						

以上をもって、議長は理事会の終了を宣し、16時09分閉会した。
上記理事会議事録を作成し、議長並びに議事録署名人記名押印する。

2023年3月9日

議長 会長 小 田 島 綾 子 印

議事録署名人 監事 津 田 文 雄 印